



# 「新潟大学ファクトブック2015」の 作成について

---

関 隆宏\*，今井博英\*，小田美奈子\*\*

\*新潟大学IR推進室(経営戦略本部評価センター)

\*\*新潟大学IR推進室(総務部企画課)

E-mail: [ir@adm.niigata-u.ac.jp](mailto:ir@adm.niigata-u.ac.jp)

平成28年2月23日



## ファクトブックとは

- 大学運営における重要データの経年変化や他大学との比較を表やグラフに整理したもの。
- 大学執行部や部局執行部などが行う、意思決定や判断の支援のために提供される。
- 米国の IR オフィスの多くで作成している。  
(学外公開の有無は大学により異なる。)
- 日本でも、いくつかの事例が見られる。

(文献例)

- 佐藤仁(2009)「大学経営における「見える化」の一方策—大学のファクトブックに着目して—」, 『大学評価研究』第8号, 65-73.
- 高田英一, 高森智嗣, 森雅生(2014)「IRにおけるデータ提供と活用支援のあり方について —九州大学版ファクトブック「Q-Fact」の取組の検証を基に—」, 『大学評価研究』第13号, 101-111.
- 土橋慶章, 浅野茂(2015)「評価・IR業務で収集した情報の効果的活用に係る—考察～神戸大学におけるデータ資料集の作成を通じて～」, 『大学評価とIR』第1号, 5-14.
- 畠田敏行(2015)「ファクトブック作成に向けた大学概要の活用について」, 『大学評価とIR』第1号, 31-38.



# 「新潟大学ファクトブック2015」の作成に至る経緯

- 以前より, 評価センターで「基礎データ」を収集
- 平成26年10月「IR 推進室」設置
  - 「基礎データ」のいくつかの項目に関する「ファクトブック (パイロット版)」の作成 (平成27年3月)
  - 事務局各課が定期的に収集しているデータについて調査し, そのデータを提供してもらえる体制を構築 (平成27年4,5月)
- 平成27年度のファクトブックに係る計画
  - 「新潟大学ファクトブック2015」の作成と学内公開
  - 定期的作成に向けて, 内容面や作業面の課題の整理
  - 執行部・学内への周知



# 「新潟大学ファクトブック2015」の作成過程 (1/4)

## 1. 基本コンセプトの明確化

### □ IR推進室で**収集しているデータの活用**

- (内部的に)データに関する課題を実地で理解・把握

### □ 経年データを表とグラフで**可視化**

### □ 割合や比率等の**指標データが中心**

- 第3期中期目標・計画を意識

### □ パイロット版に対する意見を踏まえた**利用者視点の意識**

- 当たり前前のデータしかない

→ **新たな気づきもあるデータ提示**(「へえ～」「おやっ!?!」「なぜ?」「これはまずい!」と思うようなデータがたまたまがあるとベター)

- 表とグラフだけでは、何に注目して見ればよいのか分からない

→ 各項目について、数値の大きな変化、経年で見たとときの傾向など、注目される点を「**コメント**」として簡潔に記載



# 「新潟大学ファクトブック2015」の作成過程 (2/4)

## 2. 項目の選定

### □ 選定基準(一部例外あり)

- ① IR推進室で収集しているデータから作成可能
  - ② 大学の諸活動の状況を示す**基本的項目**
  - ③ **指標化しやすい数値データ**がある項目
- ネガティブな視点からのデータ項目(入学辞退率, 休学率, 退学率, 留年率, 未就職率など)も設定

### □ 実際にやってみて

- 大学評価担当者の経験が活かされ, 比較的容易
- (この時点では)意味ある情報が得られるかは未知数
- **基本的項目にないオリジナル項目を設定する場合には, 相応の時間がかかると予想される**



# 「新潟大学ファクトブック2015」の作成過程 (3/4)

## 3. データの作成

□ データベースからのデータ抽出と整形

□ 実際にやってみて

### ■ データ定義や計算方法

(例) 基準日: 4月1日, 5月1日, 3月31日など

語の定義: 就職率, 留年率 など

計算方法: 留年率等の算出における長期履修学生の扱い など

(本学独自の問題) 教員の所属: 学系, 学部・研究科 など

### ■ 疑念のある基データの存在

(例) 年度によって値が大きく異なる など

### ■ データの確認

(教訓) ・ 複数人によるチェックは大事(それでも見逃す可能性はある)

・ 異なるプロセスでのチェックも有効



# 「新潟大学ファクトブック2015」の作成過程 (4/4)

## 4. ファクトブックの作成

- レイアウトやグラフの表示方法が決まれば、基本的には単純作業
- 実際にやってみて
  - レイアウトやグラフの表示方法
    - データ毎に集計単位や表示方法が大きく変わらないように調整
    - フォントやレイアウトの統一には Excel VBA を活用
  - 単純作業の進め方
    - 資金があったので、派遣の方に来てもらい、単純作業の部分を一気に進めることができたが、資金がないと…
  - コメントの作成
    - データから読み取れる客観的事実を記載(ただし、ネガティブな視点からのコメントが多め)
    - これといった注目点がないため、コメントしにくい項目もあり。



## 今後の展開

---

- 「ファクトブック」作成業務のルーティン化と早期完成
- 内容の充実に向けた課題
  - 掲載項目の追加(特に, 経営戦略や各種評価に必要な指標)
  - 学科・専攻別表示, 他大学とのベンチマーク
  - 分析コメントのあり方(背景・要因を含めた分析, 複数項目を連結させた分析など)
- 学内(学外)での利活用をどのようにすべきか?
  - 3月に学内公開予定(PDF形式)
  - IRに対する意識啓発
  - 意見交換の場のを設定
  - 学内の会議でいつでも閲覧できる状態に